

目黒区学童保育クラブ 第三者評価を踏まえた改善計画・実施状況

学童保育 クラブ名	烏森第二学童保育クラブ	実施年度 (※)	3年度
--------------	-------------	-------------	-----

※第三者評価実施の年度

項目	評価結果に基づく現状分析	改善計画	実施状況(予定を含む) (4年4月30日時点)	左記実施状況に実施予定が あった場合の実施状況 (4年4月30日時点)
4 について	これまでは目黒区の学童保育クラブとして、「目黒区学童保育指針」に従い、公設公営の保育がベースであると考えていたため、施設独自の中長期計画という概念をほとんど持っていなかった。	令和4年4月より、当法人の学童保育に関して「学童事業部」が発足し、これまで保育部(保育園)の中の学童保育事業から独立したそれにともない、学童事業部として事業計画を策定したところである。これらの事業計画を元に、自施設についても中長期計画を策定していく予定である。	1 実施済み 2 実施予定 (4年10月ごろ) 具体的には以下のとおりです。 左記のとおり、法人学童事業部の事業計画を元に、自施設の中長期計画を策定する。	1 実施済み (年 月) 具体的には以下のとおりです。
41 について	保育日誌を用いて子どもの記録や引き継ぎをしていたが、記録者のスキル不足および、子どものトラブルがほとんどないため、記載事項が前例踏襲と受け取られてしまった。 また、手書きでの記入も指摘されたが、PC環境があまり良いわけではないこと、「記録のための記録」にするのではなく、生きた情報を残すことにこだわり、手書きを推奨している。	保育日誌の裏面の内容について、改めて職員間で確認した。コロナ対策で一緒に遊んでいた子どもや職員の記録を振り返る必要があるため、だれがどのような遊びをしていたかを箇条書きで記載しつつ、子ども同士のやりとりや成長等があれば補足することとした。 保育日誌は公文書であると同時に、施設や自身の保育の振り返りをするツールである。一方、だれでも必要な記録が残せるよう、今後も工夫していく。	1 実施済み 2 実施予定 (年 月ごろ) 具体的には以下のとおりです。 訪問調査後、打ち合わせ等の記録を引き継ぎノートに残すように改善した。また、連絡帳で子どもの成長等を保護者に伝える際、連絡帳のコピーを引き継ぎノートに貼って翌日の保育打ち合わせで共有している。	1 実施済み (年 月) 具体的には以下のとおりです。
について			1 実施済み 2 実施予定 (年 月ごろ) 具体的には以下のとおりです。	1 実施済み (年 月) 具体的には以下のとおりです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価結果報告は、目黒区ホームページで公表しています。